

鳥取県

高P連

会報

第80号
平成27年2月24日

発行所 地内校会
鳥取市扇町21番
民ふれあい会館
取県れあひ高等学
鳥取県高連合
P T A 連 合
0857-27-0730

平成26年度 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会(報告)

平成26年11月29日(土)、とりぎん文化会館を会場に、鳥取県高等学校PTA指導者研究大会が開催されました。

参加者から、午前の講演では、教育改革の動向について最新の情報を提供いただき大変参考になった、人間としての生き方などの広い意味での「キャリア教育」を考える意義深い講演だったなど、また午後の研究協議では、「キャリア教育」の多様性、地域で子どもを育てていく大切さを再認識したなどの意見をいただきました。

講演要旨

「将来の環境変化を見据えた教育改革の動向」

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
リクルート進学総研所長

小林 浩氏



① 「高等教育機関を取り巻く環境」

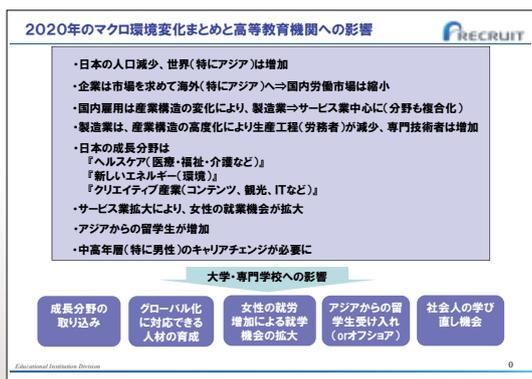
少子化により18歳人口が減る中で、四年制大学は増えていて、過当競争に入ります。専門学校進学は横ばいで、

短大進学は大きく減りました。一方、高卒求人人数が減ったため高卒就職は減り、就職できないから大学へ行くという子が出てきました。大学は、入りやすく出やすい大学に変化し、その中でどうやって質を保証するかが課題になって

います。

今後の急速な18歳人口の減少、それに伴う大学進学者の減少に備え、社会人の学び直しやシニア層の取り込み、アジアからの留学生の受け入れ態勢の強化などの大学の改革が必要になります。政府の動きにも、大学の入試改革で高校までの教育を変えていくことや、留学を容易にするために海外に合わせた学期制を組むという発想も出ています。さらにグローバル系の大学とローカルの大学というような形で分け、今まで通りの大学と、職業実践のプロフェッショナルみたいな形の高等教育に複雑化する議論が進んでいます。

今後、日本の人口が減少して世界の人口が増加した社会の中で、企業は市場を求めて海外に出ま



す。それとともに産業構造も変化し、分野の複合化も進みます。そして、今の小学校6年生は将来、その65%が今は無い職業に就くようになるとも言われています。

② 「大学入試改革の動向」

政府の教育再生実行会議による大学教育等のあり方についての提言には、グローバル化に対応した教育、イノベーションの創出、学生を徹底的に鍛え上げて社会に送り出すこと、社会人の学び直し機能の強化、大学の意思決定力を強化した経営改革という5つのポイントがあります。そして、大学入試改革の背景にグローバル化とユニバーサル化があります。

グローバル化により、これまでのような安定した労働力となる均質な人材の育成ではなく、国を越えて人材が流動する中、世の中を改革できる、正解のない中で、チャレンジできる人材の育成が必要とされるように変化していきます。

ユニバーサル化においては、高校までの教育と大学をいかに接続していくかということが、一番の課題です。これまで高校では入試に受かるための受け身の教育をし、学力の把握も偏差値に頼っていました。しかしこれからは、高校は高校できちんと教育の質を保証することが求められ、そのため

に学習到達度テストや、基礎学力テストが設定されます。

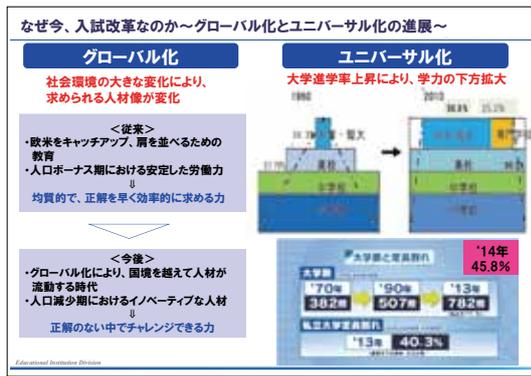
高校でやる高等学校基礎学力テストは、教科を中心に学習の達成度を把握し、学力を客観的に提示するもので、調査書にその結果を記入するという使いかたが想定されています。

センター入試に替わる大学入学希望者学力評価テストは、いわゆる教科型に加えて、合教科・合科目型、つまり教科・科目の枠を超えた複合問題も出題されるようになります。さらに現在あるPIISAテストなどと似た、論理的思考力を評価する総合型も出てきます。これは年複数回実施で、成績は1点刻みではなくて、例えばA/Eのような形で提示する段階別表示となるでしょう。

イメージというと、高校における学習到達度の把握を高等学校基礎学力テストでやっておき、大学で学ぶにふさわしいかどうかの、知識・技能の量と活用力を各大学それぞれの形ではかるのが、入試の大学入学希望者学力評価テストになります。

今後、高校の基礎学力テストが始まり、それに先んじて学習指導要領が変わります。そして、これまでの知識偏重型の入試対策では対応できない入試が出てきます。学力プラス意欲プラス語学力みた

いな多面的評価になり、どこにウエイトを置くかは大学が独自に設定することになります。



④ 「学びとキャリアの接続」 ⑤ 「ユニバーサル化時代の大学改革の方向性とは」

学ぶと働くをどのように繋ぐかが教育の出口です。ここまで述べたような入試の変革は、出口とその先の変化に対応したものであるということになります。

国の大学進学率が50%を超え大衆化しており、ユニバーサル化というのはいまから来ています。そのため大学の役割は、エリートでもリーダーでもなく全国民の育成に変わってきています。

さらに、グローバル化に対応が必要なのはリーダーに限らなく

り、グローバルワーカーや、グローバルエンジニアが必要になってきます。15年後、日本人と一緒に働き、競い合う仲間が外国人かもしれないのです。

そして、企業側は学生に、実社会とのつながりを意識した課題にチームで取り組んだ経験を求めています。これを教育の言葉で言うと、アクティブラーニングと言います。講義型の座学ではなく、自分たちでディスカッションやフィールドワークを通して学習をする。あるいは課題を与えられて、チームでそれに対しプレゼンするというプロジェクト学習という取り組みが期待されているわけです。

また、会社の寿命は現在18年程と急速に短命化しており、企業寿命よりも人生のほうが長いという変化の速い時代に対応し、学び続ける力というのが重要になります。

では学ぶと働くをつなぐポイントは何か。まず大学には、受動的な学生を主体的、能動的な学生に育てることが求められます。入学生した学生を徹底的に鍛えて主体的な学びを引き出す。つまり学び方を学びとらせる。そして高校にもこのような学びが求められるようになります。そのために、働くという出口に向けて高校、大学をき

ちんと繋いでいくシステムが必要とされるようになります。

1991年、大学の学部名(学士の名称)は29でしたが、今は700以上あります。高校の先生や高校生、保護者から見たら、大学の個性、学部名から学ぶ内容がわからず、この大学のこの学部に行つて自分の将来の姿を描けるかどうか不安になります。一方企業は、競争環境が目まぐるしく変化の中で、自社に合った人材、変化に対応できる人材が欲しいと思っています。

高校と大学の接続では、大学入学改革、入学試験改革により、到達度をきちんと見ていくとともに大学のスタンスを明示することでギャップをなくしていく。そして大学は企業と相互信頼して協力す



るために、主体的、能動的な学生を育成する、ここにも出口の到達度というのが必要になります。つまり、各段階での学生の達成度を重視することで、接続を重視することが、これからの教育改革の最重要ポイントになります。

⑤ 「親と子のコミュニケーションのあり方」

まず調査結果が示すことを紹介します。保護者と進路の話をしていくという生徒は78%と多く、保護者がよく使う言葉は何ですかという質問では、「自分の好きなことをしなさい」が1位です。保護者に対して子どもが望むこととしては、「望みを高く持ち過ぎないで」「勉強や成績の話ばかりするのはやめて」「自分の考えを押しつけないで」が多く、三天プレッシャーになっています。

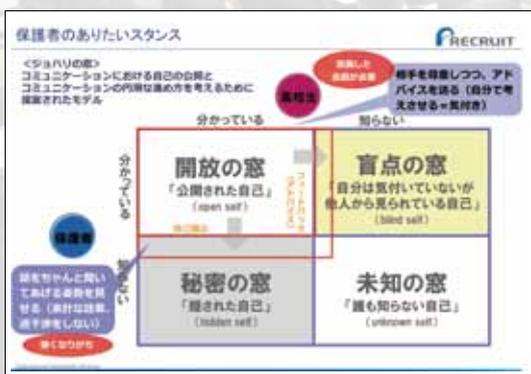
保護者に望まれるのは、子どもの「自分は気づいていないが他人から見られている自己」に気づかせようとする姿勢です。親は知っているけど子どもが知らない自分というのは、貴重なアドバイスとなり、これにより信頼が深まるとともに、子どもの考え方を広げていくわけです。

ただ、過干渉にならないよう相手を尊重しつつアドバイスを送り、自分で気づく形にしたいです。こ

れを意識したコミュニケーションでは、子どもへの質問の仕方と、それを受けてのアドバイスの仕方がポイントになります。

そして、ニュースや新聞記事について親子で会話するときに、自分だったらと主体的に考える訓練をさせる。それから、多様な意見に耳を傾けて自分の意思を明確にさせてみる。最後まで諦めずにやり抜くことを勧め、なぜという疑問を持ち探求するという姿勢を持たせる。こういった経験の積み重ねで、子どもの中に社会が必要とされる力が培われていきます。

これからの社会では、他人のせいにはせず、最終的に自分自身で意思決定をすることが必要になります。そのために、今までの日本の教育の特徴である受け身の教育が



らどう脱却するかが、学校においても家庭においても非常に重要になってきます。

このように、未来を見つめ、きちんと自分で主体的に考えていくという訓練を自宅、勉強、部活、地域社会での活動など様々な場で行わせ、物事を自分自身で決めていくという経験を少しでも多くさせておくことが、子どもを育てる上で重要であると考えます。

【質疑応答】

◎ 大学院のあり方や、資格を求めて行く専門学校の実態はどうなっているのでしょうか。

▲ ここ30年で大学院生の数が3倍になっています。しかしドクターを取っても出口がない人が数多くあり問題になっています。理系では専門分野の知識を企業側も重視していて、それでも出口はありますが、文系は厳しいのが現状です。

専門学校のありようは多種多様で、一つで語れません。今後は、従来型の大学と分けた形で、専門職育成のための新たな高等教育機関が創設されるかもしれない。このようなことを含めて、中長期的には専門学校と大学と短大の枠組み自体が変わってくる可能性があります。

進路指導(キャリア教育)とPTA

研究協議要旨

◆ コーディネーター

鳥取県立鳥取東高等学校PTA会長

宇田川和人

◆ 助言者

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
リクルート進学総研所長

小林 浩 氏

鳥取県立米子工業高等学校校長

友松 文嗣

◆ 発表者

鳥取県立岩美高等学校PTA会長

菅原 理絵

鳥取県立倉吉東高等学校教育友会会長

大津 理恵

米子北斗中学校・高等学校PTA会長

中本 高夫

▼ キャリア教育とPTA

菅原 理絵 氏

ア教育の指導に関する研究を行うものです。



現在本校では、地域のキャリア教育としてどのようなことができるのか、文部科学省指定開発学校の取り組みを進めています。

ア教育の概要は、①地域の特性の教材化、②地域に直結した実習等への組み込みの3点です。具体的には、フィールドワーク、ジオパーク検定、シーカヤック、浦富マラソンなど、さまざまなジオパーク学習を行うことにより、地域の方と一緒に岩美町を盛り上げる取り組みをしています。この取り組みが学校目標でもある郷土を愛し、鳥取県に貢献できる人材を育成することに繋がればと願っています。

これは、高校生が地域に貢献する活動を通して、地域の将来を支える人材を育成することをテーマとし、地域の教材化とそれをもとにした普通科高校としてのキャリア

倉吉鴨水館の役割は、受験対策や経費負担減だけでなく、将来の自分の方向性を見つめ直す機会を与えてくれたり、現役の時に志望を下げることなく受験に向かえる信頼感があるなど、倉吉東高の卒業生のみならず、中部地区の浪人の進学支援をする場となっております。

今後PTAもこの取り組みにどのような形で関わっていくことができるのかと考えているところですが、

▼ 進路とPTA

↳ NPO法人倉吉鴨水館の設立

大津 理恵 氏



倉吉鴨水館は、専攻科廃止に伴って、

浪人生を支援するために倉吉東高同窓会と育友会(PTA)が平成25年3月に発足させたNPO法人です。

▼ キャリア教育とPTA

中本 高夫 氏



キャリア教育とPTAの関わりとして、鳥取大学医学部の植木教授に「発明学」という切り口で講義を頂きました。そこで先生は、自分の利益ではなく、利他、他人の利益をまず先にして物事を考える発想になること、加減乗除がキーワードになっている「発明学」という考えに触れて、発想の転換について生徒たちと一緒に楽しく学ぶことが出来ました。

また、人権講演会では生徒の能力を引き出すコーチング理論について学び、目的達成や自己実現を目指すこと、傾聴することの重要性を学びました。

本校の建学の精神に、リーダーの育成が謳ってあり、この精神をもう一度ブラッシュアップしよう

平成26年度各支部活動

【東部地区】

○単P会長・校長会（春秋会）

春の春秋会は、五月二十七日に智頭農林高校が担当して開催し、「智頭町の産業」を主題に株式会社サカモト及び諏訪酒造の視察研修を実施した。

株式会社サカモト、諏訪酒造両社とも、地域の資源を生かした智頭の特産品開発を実践されており、新たな視点での取組について説明を聞き、また、施設の見学を行った。

研修後、白兎会館において、平成二十五年度事業報告及び決算、平成二十六年度事業計画及び予算、役員改選等を行った。東部地区会長には、退任される池内勝彦氏（鳥取西高）に代わって水野治郎氏（鳥取西高）が選任された。

秋の春秋会は、十月十六日に青谷高校が担当して、鹿野で開催した。まず、「ぶらつと歩こう鹿野ガイド」の案内で鹿野の街並みを散策した。ガイドの興味深い案内により九十分間の散策で町の歴史を再認識した。鳥の劇場・しかの心・牛つなぎ石・せせらぎ通り・幸盛

寺・鹿野ゆめ本陣等を見学し、町の整備と発展に掛ける町民の思いと亀井滋矩公の思いを感じた。

その後山紫苑にて会議を持ち、高P連事務局から、今年度の活動状況、P.T.A指導者研究大会、韓日交流事業についての説明、また全国大会、中四国大会等の報告があった。

（文責 東部地区高P連事務局）

【中部地区】

今年度の中部地区高P連の体制は、七校中三校でP.T.A会長が交替し、連合会の会長も今年度から倉吉東高校の大阪会長に交代しました。また、事務局も倉吉西高校から倉吉東高校に移り、新たな体制でスタートしました。中部地区は、いくらか体制が変わったとしても「中部はひとつ」のスローガンの下、今年度も当初からメンバーが一丸となってエネルギーに活動しました。

内容としては、P.T.A会長と校長の合同会議を年に三回開催しました。六月にはP.T.A役員交流会として恒例の「キンボール」を学校対抗で競い、中部地区全体の親睦を深めることができました。七月開催の中国・四国大会や八月開催の全国大会には、今年も中部地区の参加者は一台のバスを貸し切

り、全体会や分科会をはじめ有意義な研修をすることができました。また、十月には指導者研修会を開催しました。今年度は、鳥取中央育英高校と倉吉総合産業高校の二校に「家庭と学校の教育とP.T.A活動」について研究発表をしていただき、他の五校からは学校の取組をご紹介いただくなど各校の取組を情報共有することができました。

今年一年事務局を担当させていただきましたでしたが、P.T.A活動に参加されている方々の熱い思いに触れることができ、大変貴重な時間を過ごすことができました。皆様に感謝を申し上げます、中部地区の報告とさせていただきます。

（文責 中部地区高P連事務局）



7月11日 中四国高P連高知大会会場にて

【西部地区】

平成二十六年西部地区高等学校P.T.A連絡協議会は五月三十日の総会において、前田昇会長から南雅樹会長（米東）へ引き継がれ、七名の新会員を迎え新体制でスタートを切った。

前田昇会長は二年間にわたり地区高P連会長として、西部地区の学校を牽引し発展に寄与され、平成二十六年度の全国高P連大会個人表彰となった。改めて感謝の意を表したい。

本年度最初の西部地区高等学校P.T.A会長研修会が九月五日に開催され、各単Pの現況報告と西部地区高等学校P.T.A研修会の内容について話し合いが行われた。

十月十八日（土）、西部地区高等学校P.T.A会長・校長合同研修会が米子西高等学校の幹事で開催された。本年度はY.M.C.A米子医療福祉専門学校のご協力を得、学校説明会と理学療法士科の「運動機能を中心にアプローチをする専門職」の実習を体験させていただいた。後半は、地域文化や米子市の歴史に触れる研修として「加茂川・中海遊覧」を企画した。天候にも恵まれ、改めて地域文化の素晴らしさを実感し、有意義な交流会となった。この西部地区会長・校長合同研修会は本年度で幹事校

が一巡したが、今後も体験活動を盛込んだ研修会として継続されることが確認された。

平成二十七年二月一日（日）、本年度の西部地区高等学校P.T.A研修会がホテルサンルート米子において、西部地区二四七名のP.T.A参加により盛大に開催された。テーマは「薬物乱用と危険ドラッグ」と題し、講演は鳥大医学部医学科講師祝部大輔氏を招き、最新情報を興味深く視聴した。シンポジウムでは、鳥取県条例でいち早く取組んでいる「危険ドラッグ」の現状を知り、子どもたちの健全育成に向けて理解を深めるよい機会となった。



2月1日 西部地区高等学校PTA研修会

この他、西部地区会長会において当面する諸問題について情報交換が行われる予定である。

（文責 西部地区高P連事務局長）

体罰根絶と平成28年度中国ブロック全国総体

鳥取県高等学校体育連盟

鳥取県高等学校体育連盟は、

昭和22年に設立され、「高等学校に係る体育・スポーツ活動の振興を図り、もって高等学校生徒の健全な発達を図ること」を目的とし、現在加盟校39校、加盟登録者数が16,000人を越える組織です。

活動としては、各種運動部活動の大会を企画・運営、県高校体育の調査研究等を行っています。

さて、現在県高体連が取り組んでいる事について、ふたつご紹介いたします。

ひとつは、【体罰根絶】についてです。

平成24年12月、大阪府立桜宮高校バスケットボール部顧問による体罰事件は、衝撃的な出来事でした。そして、この事件をきっかけに、体罰根絶が日本全国で叫ばれるようになりまし

た。しかし、現実には日本代表選

手へのパワハラ問題、また女性

に対するセクハラ問題、何より、

衝撃的な事件発生後も発生して

いる体罰問題等、残念ながらこ

れが現状です。

全国高体連は、平成25年4月

25日、日本体育協会・日本オリ

ンピック委員会・日本障がい者

スポーツ協会・日本中学校体育

連盟と連名で、「スポーツ界に

おける暴力行為根絶宣言」を採

択し、県高体連もこの宣言を承

認しています。

また、平成26年5月20日、一

体罰根絶全国共通ルール」を制

定し、各都道府県加盟校に通知

しています（平成26年7月1日

施行）。

内容は、指導者（監督・コーチ・

顧問教諭・外部指導者等）に対

して、

一、体罰を行った指導者につい

ては、原則として当該体罰に

対する各教育委員会又は各学

校の指導措置・処分等が確定

後一年間、高体連主催大会に

出場できないものとする。（選

抜大会を含む）

二、体罰を行った指導者につい

ては、原則として高体連の役

会又は各学校の指導措置・処
分等が確定後一年間、原則と
して高体連の役割に充てな
い。

しかしながら、体罰事象等が
根絶できていないのも事実で
す。

そこで、県高体連としては、
運動部活動顧問を対象とした、
【体罰根絶に向けた啓発活動】
とともに、平成27年度から、【体

罰等に関する相談窓口】を、県
高体連内に設置する予定です。

業務としては、学校関係者等
に相談できない状況における問
題を解決するため、相談者の了
承を得た上で当該校と県教育委

員会への情報提供を行います。
また、匿名希望の場合も相談
者に十分配慮し対応する事とし

ます。ひとりでは悩まずに、何か
相談がある場合は、お気軽に連
絡をしていただきたいと考えて

います。尚、正式な業務開始は
平成27年4月1日となります。

さて、もうひとつは、平成28
年度に開催される、中国ブロッ
ク全国総体についてです。

7月28日、岡山県で総合開会
式を行い、中国五県を中心に30
競技を開催（ヨットは和歌山県

固定開催）し、鳥取県では、鳥
取市：相撲競技、鳥取市・八頭
町：ホッケー競技、倉吉市：自
転車競技（トラック）、米子市
：弓道競技、計4競技が開催さ
れます。

全国総体（通称インターハ
イ）は、総数36,000人を
越える参加者となる、高校生の
一大イベントです。尚、今年の

南関東全国総体では、観客者数
が延べ人数で72万人を越えてい
ます。

現在鳥取県として、多くの監
督・選手・応援団の方々に最高
の舞台を用意し、お迎えするた
めに、今年度、県教育長を会長

として準備委員会を設立し、総
務・競技専門部で、具体的な準
備作業を行っています。

また、来年度は、準備委員会
から実行委員会へと移行し、い
よいよ開催に向けての本格的な
準備が始まります。

各競技を無事運営するため、
多くの先生方を中心とした役
員、そして高校生を中心とした
補助役員が必要となってきます

ので、現在その養成講習等を行
っています。尚、保護者の方々
も、平成28年度中国ブロック全
国総体開催時は、他県から多く

の監督・選手・応援団、そして
観客の方々をお迎えするのに、
様々な関わりの中で、「おもて
なし」のご協力をいただければ
幸いです。是非、宜しく願ひ
します。

左の写真は、今年度南関東全
国総体で、県勢初となる男女団
体アベック優勝を達成した、倉
吉西高校男女弓道部です。この
最高の笑顔を多くの方々にお届
けできるよう、高体連として頑
張ってまいりますので、今後とも、
ご支援とご協力を宜しく願ひ
します。



鳥取県で暮らしたら

鳥取県福祉保健部子育て王国推進局子育て応援課

このたび鳥取県では、様々な統計資料をもとに、ファイナンシャルプランナーによる、鳥取県と東京都における生涯収支の比較等を掲載したパンフレットを作成し、現在、県内の高等学校、大学、専門学校（以下「高等学校等」という。）への出前授業や相談会といった機会を通して、鳥取暮らしの魅力を伝えていこうと取組を始めたところです。今回はその内容をご紹介します。

1 独身時代のお金の収支比較

鳥取県と東京都での収入を比較すると高卒及び大卒初任給、20〜24歳及び25〜29歳の平均月給は全て鳥取県が低くなっていますが、支出を比較すると鳥取県は民間賃貸家賃（1坪あたり）では半分以下、消費者物価地域差指数では7.6低く、物価が安いことが分かります。

区分	鳥取県	東京都
①高卒初任給	146,000円	164,700円
②大卒初任給	172,200円	207,700円
③1坪(約2畳)あたり 民間賃貸住宅家賃	4,142円	8,834円
④消費者物価 地域差指数	98.3	105.9
⑤20〜24歳の平均月給	192,400円	234,000円
⑥25〜29歳の平均月給	228,500円	287,200円

出典
①②⑤⑥2013年厚生労働省賃金構造基本統計
③2012年総務省住宅・土地統計調査
④内閣府2013年平均消費者物価地域差指数の概況

2 生涯のお金の収支比較

しかしながら、長い人生では、仕事、結婚、子育て、老後などさまざまな時期があり、収入以外の物価や住まい、自然環境、子育て環境などトータルに比較して、大都市で暮らすのか鳥取県で暮らすのか考えるきっかけとなるよう鳥

2010年に国立社会保障・人口問題研究所が行った第14回出生動向基本調査の18〜19歳の男女が希望する年齢（男性：27歳、女性：25歳）で結婚し、3人（※）の

子どもを産み、夫婦の合算生涯平均年収の収入があると仮定しています。

※平成25年に鳥取県が行った鳥取県少子化対策等アンケート調査によると、既婚・未婚者全体の理想子ども数は2.58。

《往居費用について》

特に土地付住宅建築費は東京都では平均5,154万円かかるところ、鳥取県では平均2,902万円と2,000万円程度少なく、また、マンション購入費では東京都では平均4,527万円かかるところ、鳥取県では1,951万円と半分程度の費用です。

賃貸の平均家賃を比較しても鳥取県のほうが安価です。

住宅関係支出の比較

区分	鳥取県	東京都
①家賃平均月額	40,040円	76,703円
②1㎡当たり 住宅地平均価格	20,600円	317,000円
③住宅建築費	2,633万円	3,617万円
④土地付住宅建築費	2,902万円	5,154万円
⑤マンション購入費	1,951万円	4,527万円
⑥住宅ローン平均残高	375万円	631万円

出典
①2008年総務省住宅・土地統計調査
②2014年国土交通省都道府県地価調査
③④⑤2012年住宅金融支援機構フラット35利用者調査
⑥2013年総務省家計調査年報

《教育費について》

子どもの進路により、家計の支出は大きく異なります。今回の試

算では、鳥取県の家計で、第1子は県外私立大学、第2子は県外私立短大、第3子は県内公立大学へ進学し、東京都の家計では、第1子は都外私立大学、第2子は都内私立短大、第3子は都内公立大学へ進学したと想定し比較したところ、一生涯の教育費は鳥取県のほうが、約200万円多くなる結果となりました。今回、鳥取県の家計の場合は、2人が県外進学と仮定したため、教育費が多くなる結果となりました。

《収支のまとめ》

鳥取県の平均収入は、東京都と比べ低くなっていますが、支出額は、東京都のほうが多いため、一生涯の平均貯蓄額の差は約30万円という結果となりました。

住宅資金・教育費・貯蓄額の比較

区分	鳥取県	東京都
①65歳までの 住居費用総額	約3,600万円	約6,546万円
②一生涯教育 費用総額	約4,046万円	約3,829万円
③一生涯の 平均貯蓄額	約1,228万円	約1,257万円
④1世帯当たり 貯蓄額	1,570万円	1,674万円

出典
①②③ファイナンシャルプランナーによる試算結果
④2009年総務省全国消費実態調査

3 鳥取県の子育て・生活環境

国が公表している統計データなど客観的な数字から鳥取県での暮

らしの良さをまとめました。

《生活環境》

鳥取県は人口10万人当たり交通事故発生件数が全国で最も少なく、また、世帯主の片道通勤時間が全国4位と短く、持ち家比率も70%で全国18位、1住宅当たり持ち家延べ面積も全国11位と快適な生活環境といえます。

《子育て環境》

医療面では、人口10万人当たりの産婦人科医師数は全国4位、同じく小児科医師数は全国2位、文化面では、人口10万人当たりの体育館数、図書館数は、それぞれ1位、4位と恵まれた環境といえます。

《終わりに》

以上のようにデータで捉えた鳥取県の魅力に触れていただきましたが、鳥取県は数字では表せない、豊かな自然環境、美味しい水や、食べ物など様々な魅力に溢れています。これから、生徒の皆さんが就職、進学など進路を選択される際の一助となれば幸いです。



池内 勝彦氏

(前県高P連会長)



平成21年度から五年間にわたり県連会長を務め、そ

の間、創立60周年記念大会、中国・四国地区高P連シンポジウム、中国・四国地区高P連鳥取大会に尽力し、成功に導いた。また、中国・四国地区及び全国高P連の役員としても活躍し、特に全国高P連では平成22年度に進路対策委員会委員長を務め、「キャリア教育」の推進に尽力した。県内においても研究大会等を通じて、PTA会員に「キャリア教育」を考える一つの方向性を提案し、今後取り組むべく課題が明らかになったなど、PTA会員の多くの皆様から声をいただいた。県高P連が目指すPTA活動の発展に寄与したことが高く評価され、今回の受賞となった。

平成26年度
鳥取県教育委員会
表彰受賞

平成26年度 県高P連表彰者一覽

鳥取東高	石谷 充	倉吉東高	池内 春雄
鳥取東高	橋詰 勝人	倉吉東高	安井 啓介
鳥取東高	兼平 恵	倉吉東高	阿部美代子
鳥取東高	松田 悟	倉吉西高	松本 清治
鳥取西高	池内 勝彦	倉吉農業高	井谷 育美
鳥取西高	谷口 眞弓	倉吉総合産業高	衣笠 尚義
鳥取西高	吉岡 郁美	倉吉総合産業高	長濱みゆき
鳥取西高	玉木 淳二	鳥取中央育英高	高力 晴代
鳥取商業高	飯野 学	鳥取中央育英高	池口 寿朗
鳥取商業高	戸田喜一郎	鳥取中央育英高	川田 憲一
鳥取商業高	安田 智子	鳥取中央育英高	松本 晴樹
鳥取商業高	野崎 淳介	鳥取中央育英高	石田由美子
鳥取工業高	山本 一也	鳥取中央育英高	盛山 美恵
鳥取工業高	大石 勝秋	米子東高	前田 昇
鳥取湖陵高	小川 政宏	米子東高	西上 昭子
青谷高	野藤美智子	米子西高	砂口 浩二
青谷高	長谷川祐司	米子西高	平田 和弘
岩美高	谷口 光子	米子西高	二岡 敏彦
八頭高	国本 恵佑	米子西高	吉川 幸
八頭高	亀井 慶子	米子高	芦立 喜男
智頭農林高	小林 清則	米子高	山本安希子
智頭農林高	足立 正久	米子南高	南場 太
倉吉東高	米増 誠	米子工業高	森田美由妃
倉吉東高	原田 美奈	境高	堀田 真弓
倉吉東高	阿部 竜三	境高	松田真由美
倉吉東高	小椋 泰志	境港総合技術高	浜田 一徳

平成27年度各種研究大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA連合会総会
6月6日(土) 湯梨浜町「国民宿舎 水明荘」
- 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会
7月10日(金) 岡山市「岡山市民会館」
- 全国高等学校PTA連合会大会
8月20日(木)、21日(金)
岩手県滝沢市「岩手産業文化センター」他
- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
11月28日(土) 琴浦町「まなびタウンとうはく」

平成23年より再開された鳥取県教育委員会と大韓民国江原道教育庁とのPTA交流事業が、本年度は韓国江原道から9名の訪問団を迎え開催された。

一行は10月21日午後米子空港に着。県教育長表敬訪問、県教育長主催夕食会。22日倉吉東高等学校訪問。その後、県PTA団体との意見交換を行い、PTA主催の夕食会で情報交換を行った。23日は倉吉市の白壁土蔵群視察、南部町西伯小学校訪問、自由な意見交換が行われた。教育制度の違いがあるにも関わらず、事前に議題を絞り意見交換を行ったので多くの質疑応答があった。

今年度も両国の保護者から、ともに子どもたちの成長や教育への熱い思いが伝わってきた。

(文責 事務局長 寺谷節男)



平成26年度
日韓家庭・地域教育交流事業(報告)
平成26年10月21日~24日